

2010年度

科目名	宗教学講読B		
担当教員	貫名 讓		
配当	文財2・人社2	コード	54490
開期	後期	講時	金曜日4限
		単位数	2
授業テーマ	『御文章』(お文)からうかがえる蓮如の無常観		
目的と概要	『御文章』は『お文』とも呼ばれますが、これは蓮如が人々に送った手紙のうち、80通ほどをまとめたものです。室町時代に活躍した蓮如は、手紙を通して親鸞思想を平易に人々に説き示しました。信心・念仏・往生など、難しいと思われがちな親鸞の思想を、相手の立場に立って、重要なことを何度も何度も言葉を換えながら語りかけていきました。それは当時のみならず、現代にも大きな影響を与え続けています。そこで『御文章』の中からいくつかを読み、蓮如がどのように親鸞思想を受け止め、そして伝えていったのかを見てみたいと思います。		
成績評価法	総合評価(平常点・レポート課題の提出)		
テキスト	聖典(入学時に配布されたもの)		
参考書			
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：講義の概略と進め方 2. 蓮如の生涯 3. 『御文章』(お文)の内容について 4. 念仏と信心 5. 「後生の一大事」とは 6. 阿弥陀仏による救済(他力) 7. 「たすけたまへとたのむ」とは? 8. 仏恩報謝の念仏 9. 無常観(1) 10. 無常観(2) 11. 女性の往生について 12. 蓮如の目指したもの 13. 蓮如が及ぼした影響 14. まとめ 15. 課題 			